国際大学オープンセミナー・国際理解講座

北朝鮮の核・ミサイル危機と北東アジア情勢 北朝鮮と米中韓の圧力と融和

2003 年から始まった北朝鮮の第 2 次核危機は、いまや最大の危機を迎えています。 2017年7月に北朝鮮は二回の大陸間弾道ミサイル実験を行い、6回目の核実験も近いう ちに実施される可能性もあります。核兵器は、たった一発で都市を瞬時に消滅できる人 類史上、最強の大量破壊兵器です。北朝鮮は、アメリカに対する抑止力として核兵器と 大陸間弾道ミサイルの開発を進めてきましたが、それはアメリカだけでなく周辺国にも、 核の脅威を与えることになります。外交による解決を望む声はあっても、北朝鮮は核に 関する対話を拒否しています。それに対して、アメリカは軍事的な行動の可能性も示し ており、北東アジアに史上最悪の戦争の足音が近づいています。本講座では国連や関係 諸国がこの危機に現在までにどのように対処してきたのか、またそれにもかかわらず、 最大の危機を迎えることになったのかを解説しながら、北朝鮮の核・ミサイル危機と北 東アジア情勢の現状と展望を、そして日本のとるべき道をみなさんと一緒に考えてみた いと思います。

9月22日金 18:30~20:00

国際大学 松下図書情報センター3階ホール 参加無料



悟 講師宮本 (聖学院大学教授)

<講師略歴>

神戸大学大学院法学研究科博士後期課程修了 博士号(政治学)

聖学院大学政治経済学部教授

著書に『北朝鮮ではなぜ軍事クーデターが起き ないのか?:政軍関係論で読み解く軍隊統制と 対外軍事支援』(潮書房光人社, 2013年10月),

共著に中川雅彦編『国際制裁と朝鮮社会主義経 済』(アジア経済研究所, 2017年), 川上高司編 『「新しい戦争」とは何か-方法と戦略-』(ミネル ヴァ書房、2016年), 木宮正史編『朝鮮半島と東ア ジア』(岩波書店、2015年), Inoguchi Takashi ed., Japanese and Korean Politics: Alone and Apart from Each Other, (Palgrave Macmillan, 2015)など。

9月20日(水)までに国際大学研究所までお申し込みください。 Tel(025)779-1112, Fax(025)779-1187, E-mail:ori@iuj.ac.jp